

# 港湾事業の再評価説明資料

〔金沢港 大野地区 国際物流ターミナル整備事業〕

平成26年12月

北陸地方整備局

# 目次

1. 事業の概要	
1) 金沢港の概要	P 1
2) 事業の目的	P 3
3) 概要及び進捗状況	P 4
2. 社会情勢等の変化	
1) 事業内容の見直し	P 5
2) 見直し後の概要及び進捗状況	P 6
3. 事業の効果	
1) 効果項目の抽出と便益の計測	P 7
2) 便益として計測する効果	P 8
3) その他の効果	P 10
4. 費用便益分析結果	
1) 計算条件	P 12
2) 費用便益分析結果	P 12
5. 対応方針（原案）	
1) 事業の必要性等に関する視点	P 13
2) 事業進捗の見込みの視点	P 13
3) コスト縮減や代替案等の可能性の視点	P 13
4) 対応方針（原案）	P 13
費用対効果算出資料	P 14
参考資料	P 16

# 1. 事業の概要

## 1) 金沢港の概要

- 石川県金沢市に位置し、背後地域に建設機械、産業機械を輸出する企業が多数立地する重要港湾
- 韓国・中国・東南アジアとの国際定期航路が就航
- 石油製品の供給基地

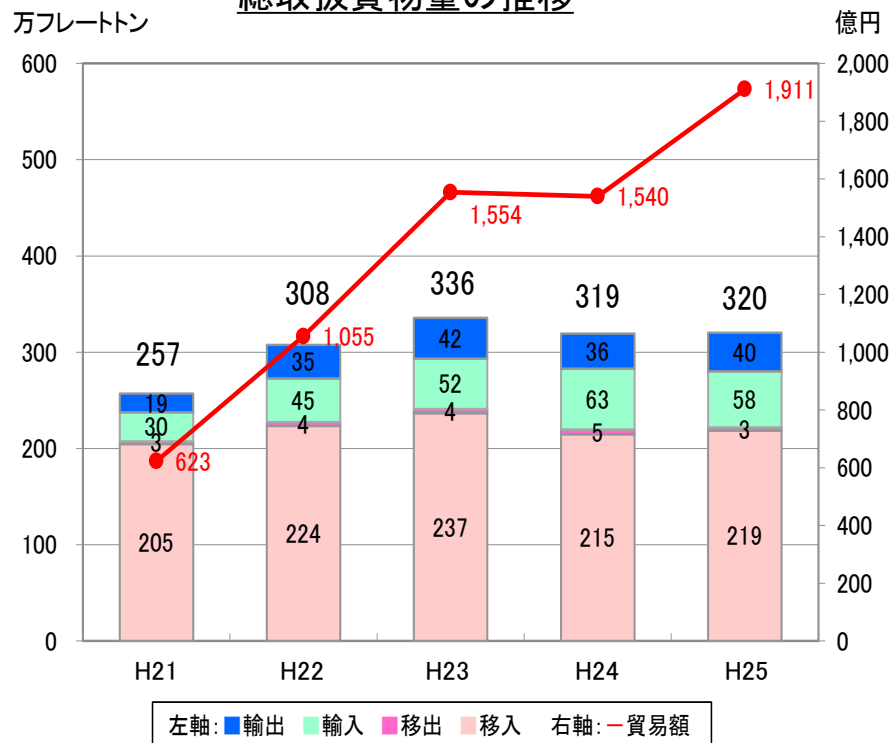


# 1. 事業の概要

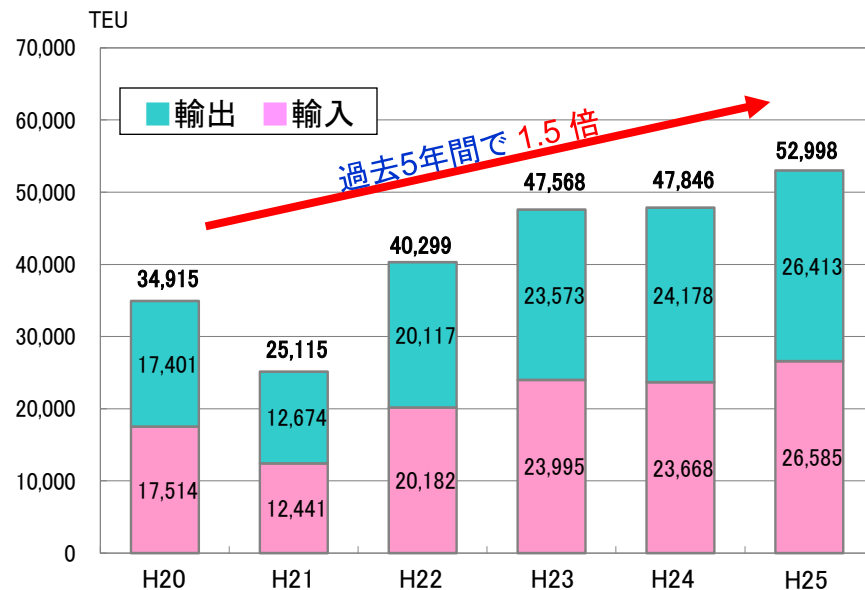
## 1) 金沢港の概要

港勢  
 ○金沢港の平成25年の総取扱貨物量は、約320万トン。  
 ○平成25年の外貿コンテナ貨物量は約5.3万トン。過去5年間で1.5倍に推移。

総取扱貨物量の推移



外貿コンテナ取扱貨物量の推移



出典: 港湾統計(年報)

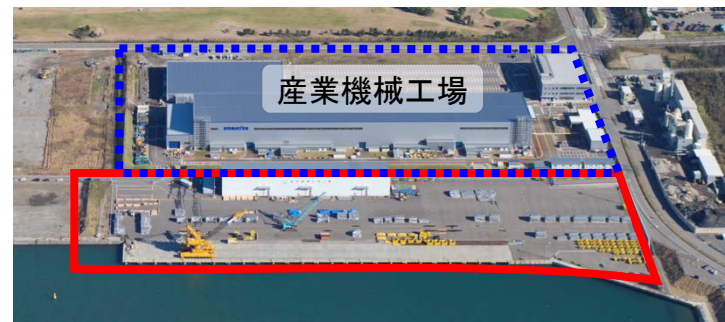
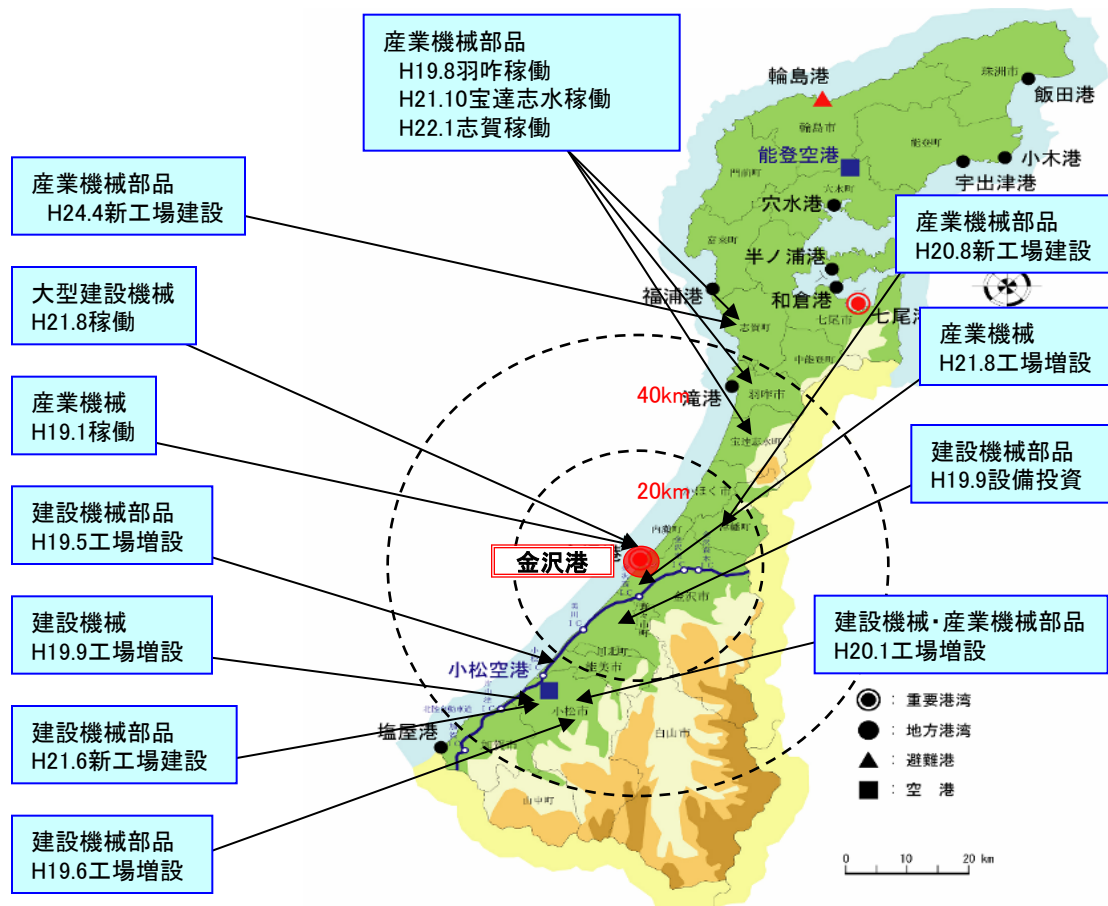
出典: 貿易額は財務省「貿易統計」、貨物量は港湾統計(年報)  
 H25年貿易額は輸出: 確報値、輸入: 速報値  
 H25年貨物量は県港湾統計

# 1. 事業の概要

## 2) 事業の目的

金沢港国際物流ターミナルの整備により、以下の効果発現を図る。

- 背後企業の物流の効率化
- 地域産業の国際競争力の強化
- 地域産業の発展



金沢港国際物流ターミナルと産業機械工場



超大型油圧ショベル



プレス機械

産業機械工場建設により、約120億円の設備投資、約80人の雇用が地域にもたされた。

# 1. 事業の概要

## 3) 概要及び進捗状況

- 事業期間：平成18年度～平成27年度
- 全体事業費：252.7億円
- 平成26年度末までの既投資額：216.5億円（進捗率 85.7%）
  - ・平成20年より水深12mで暫定供用を開始
  - ・現在は、平成27年度の完成を目指し、航路、泊地を整備

施設名	事業期間	数量	事業費(億円)			進捗率
			全体事業費	実施済み額	残事業費	
岸壁 (-13m)	H18 ～20	260m	32.8	32.8	0.0	100%
泊地 (-13m)	H18 ～25	26.9ha	67.4	64.5	2.9	95.7%
航路 (-13m)	H19 ～27	80.9ha	95.2	61.9	33.3	65.0%
防波堤 (西)	H19 ～26	136.3 m	31.3	31.3	0.0	100%
泊地 (防砂堤撤去)	H18 ～20	1式	8.5	8.5	0.0	100%
臨港 道路	H18	1,224 m	7.0	7.0	0.0	100%
ふ頭 用地等	H19 ～20	4.2ha	10.5	10.5	0.0	100%
事業費		—	252.7	216.5	36.2	85.7%



## 2. 社会情勢等の変化

### 1) 事業内容の見直し

#### ①岸壁（水深13m）の延伸

- 新規航路開設されたが、他貨物船の長期の接岸等バースウィンドウ不足により他バースを利用
- 荷主からは貨物の積出場所が分散し非効率であることから集約を要請
- 荷役形態の非効率を解消するため、同時に2隻の船舶の接岸が可能となるよう岸壁(水深13m)を延伸
- 岸壁延伸延長：140m
- 事業費を29億円増額

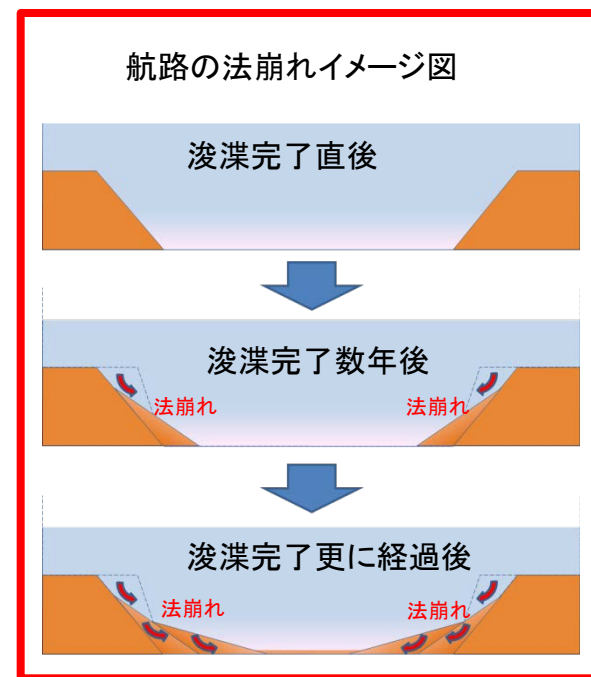


## 2. 社会情勢等の変化

### 1) 事業内容の見直し

#### ②航路（水深13m）浚渫土量の増

- 最新の深浅測量による精査の結果、航路の法崩れによる土量の増を確認
- 事業期間を2年延伸、事業費を22.6億円増額



### 2) 見直し後の概要及び進捗状況

- 事業期間を2年延伸、事業費を51.6億円増額
- ・事業期間：平成18年度～平成29年度
- ・全体事業費：304.3億円(進捗率 79.1%)

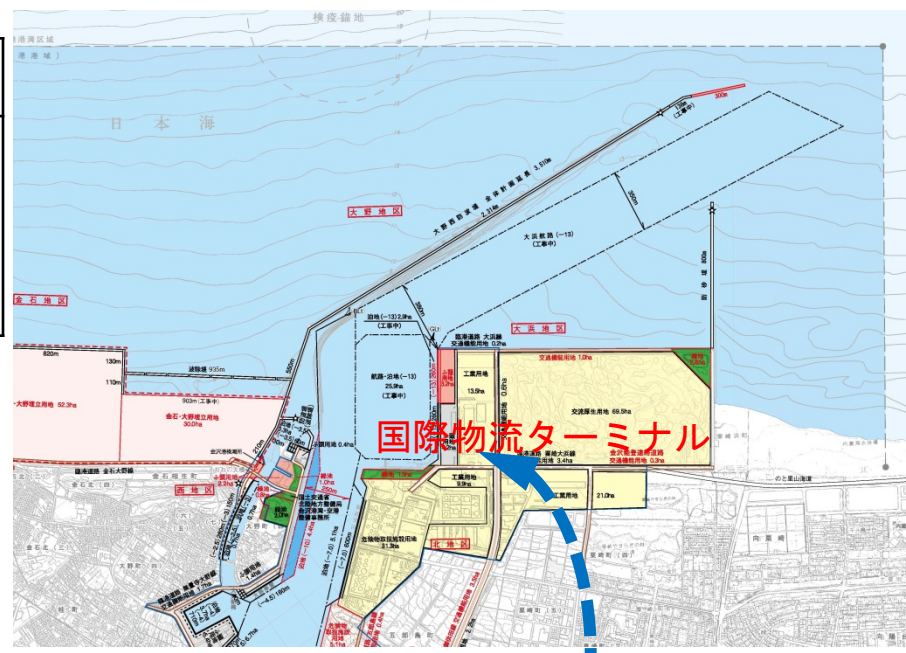


# 3. 事業の効果

## 1) 効果項目の抽出と便益の計測

- 背後企業輸出貨物の他港から金沢港へのシフトによる「**輸送コストの削減**」を便益として計測
- その他の効果として「クルージング機会の増加」を定性的に「**排出ガスの削減**」を定量的に把握

効果の分類		項目
利用者	輸送・移動	輸送コストの削減 陸上輸送コスト削減効果



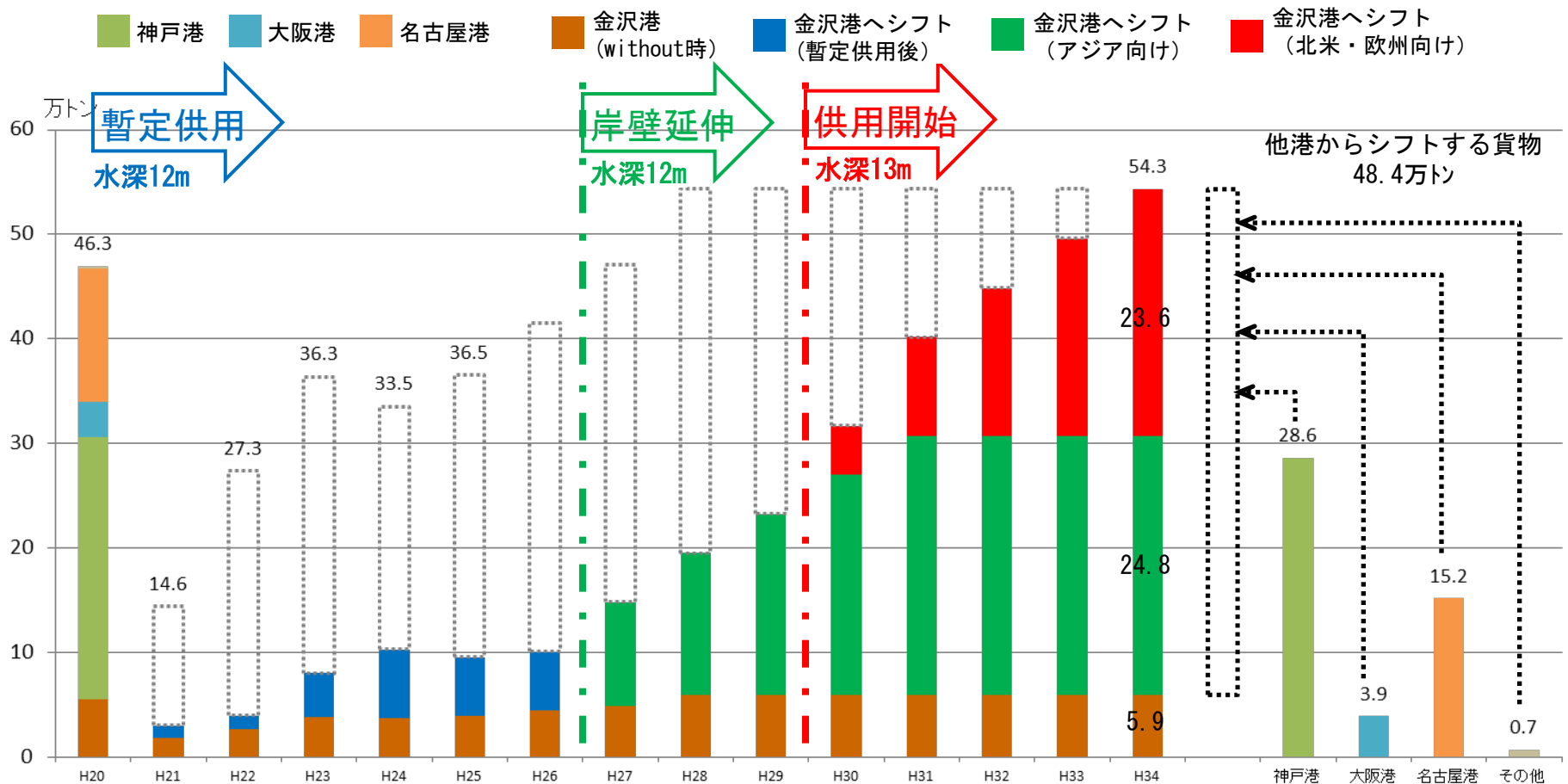
輸出貨物の他港からのシフト

# 3. 事業の効果

## 2) 便益として計測する効果

### 陸上輸送コスト削減便益対象貨物の推計

○背後企業の輸出貨物のうち、他港からシフトする貨物について、輸送コストの削減便益とする  
 ○岸壁延伸(水深12m)によりアジア向けの貨物が、供用開始(水深13m)により北米・欧州向けの貨物が他港から金沢港へシフト

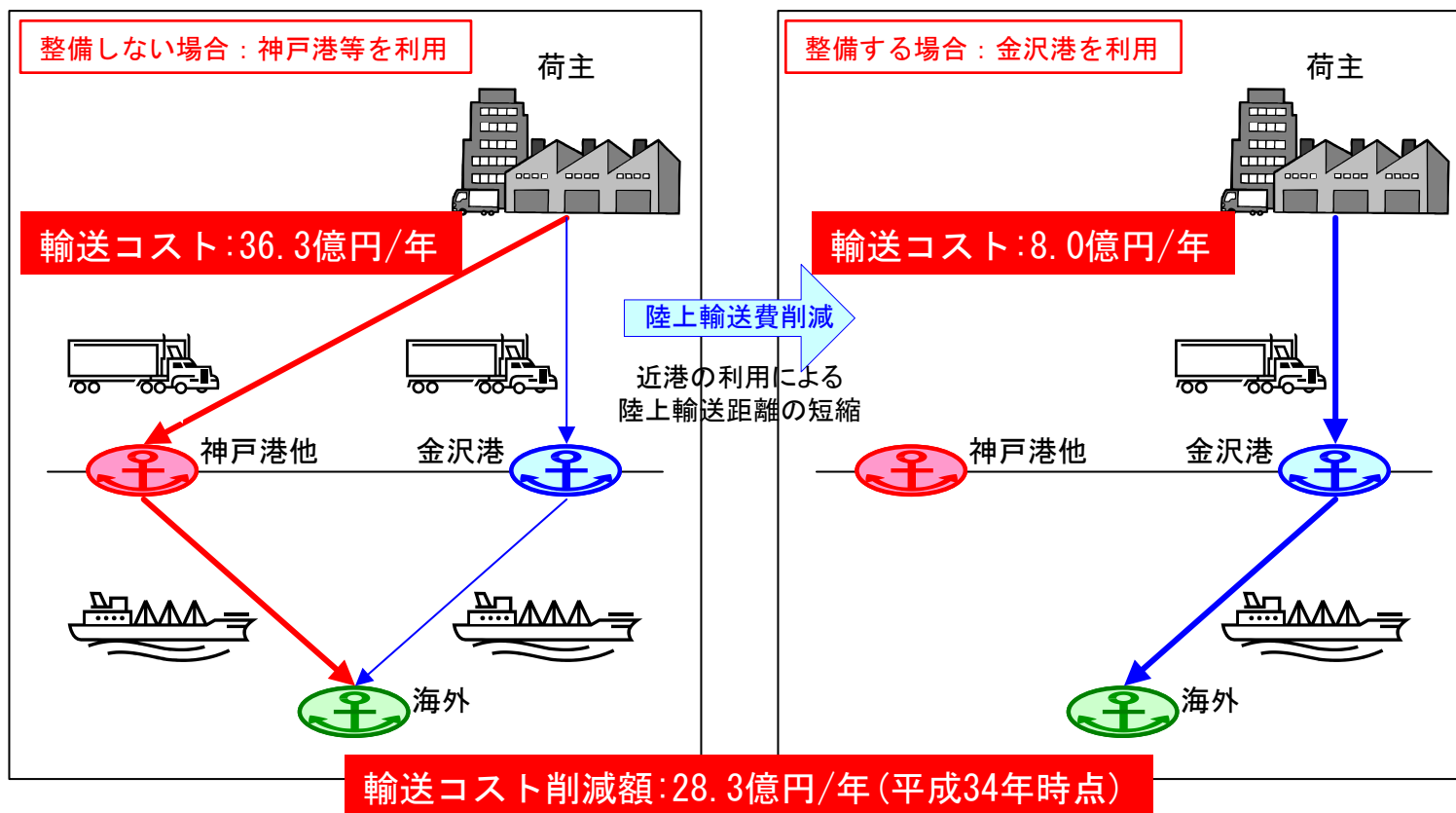


# 3. 事業の効果

## 2) 便益として計測する効果

### 陸上輸送コスト削減便益

- 他港（神戸港・大阪港・名古屋港等）を利用していただた貨物がシフト
- 利用港湾と貨物発生地との陸上輸送距離が短縮され、輸送コストが削減



# 3. 事業の効果

## 3) その他の効果

### ①クルージング機会の増加

○国際物流ターミナルの整備により、大型の外航クルーズ船が寄港することが可能となる。



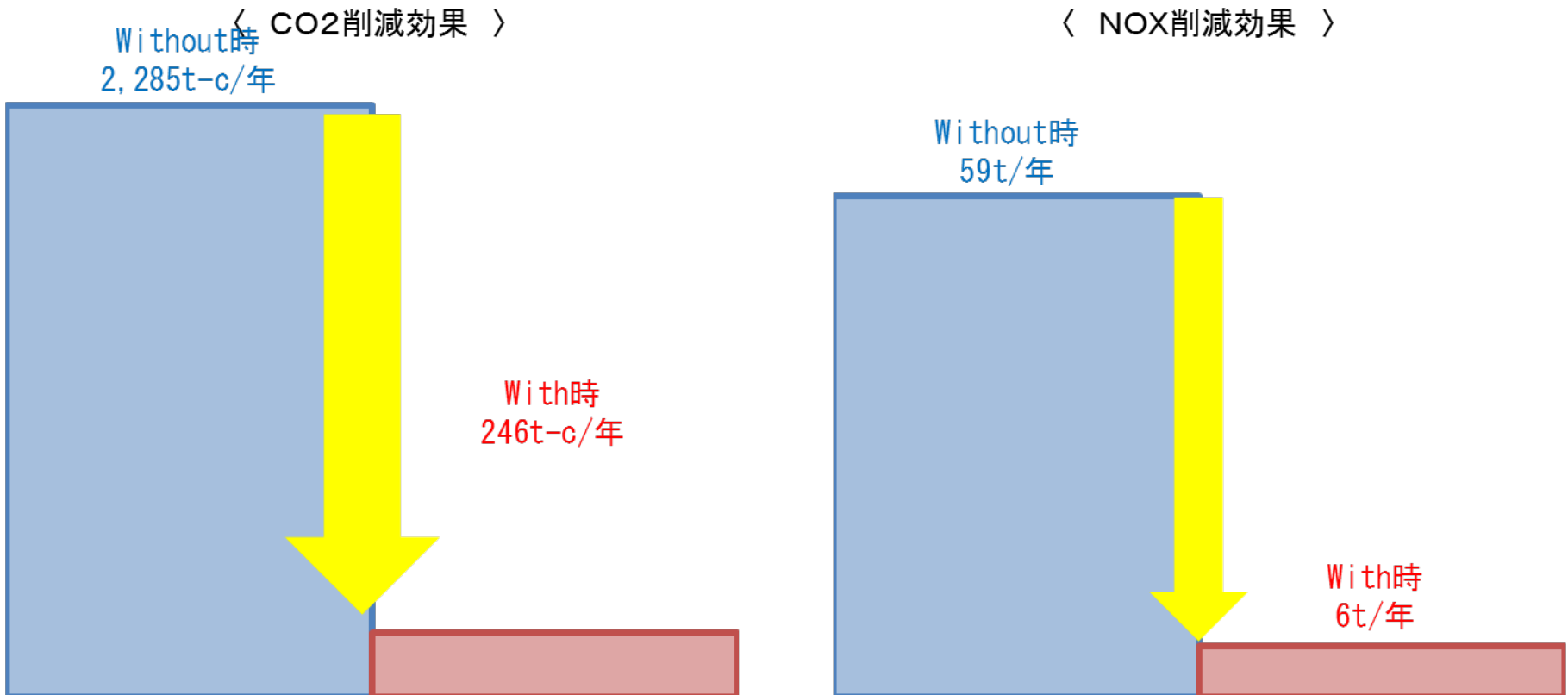
「ダイヤモンドプリンセス」(115,875ト) 入港状況(大浜岸壁:平成26年6月、7月)

# 3. 事業の効果

## 3) その他の効果

### ②排出ガスの削減

○国際物流ターミナルの整備により、陸上輸送距離の短縮が図られ、CO<sub>2</sub>排出量が約2,039t-c/年、NO<sub>x</sub>排出量が約53t/年の削減が可能



# 4. 費用便益分析結果

## 1) 計算条件

基準年度：平成26年度  
 事業期間：平成18年度～平成29年度  
 評価期間：平成21年度～平成70年度（供用開始後50年間）  
 社会的割引率：4.0%  
 維持管理費：施設の点検費や簡易な修繕費用等

## 2) 費用便益分析結果

項目		事業全体	残事業
便益 (B)	輸送コストの削減	508.5億円	223.1億円
	陸上輸送コストの削減	508.5億円	223.1億円
	残存価値	1.1億円	1.1億円
	合計	509.6億円	224.2億円
費用 (C)	事業費	337.0億円	54.1億円
	維持管理費	16.1億円	12.1億円
	合計	353.1億円	66.2億円
費用便益比(B/C)		1.4	3.4

### 【感度分析結果】

※端数処理により、各項目の和は、必ずしも合計値とはならない

項目	基本ケース	需要		費用		期間	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業B/C	1.4	1.6	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4
残事業B/C	3.4	3.7	3.0	3.1	3.8	3.4	3.4

## 5. 対応方針（原案）

### 1) 事業の必要性等に関する視点

- ・金沢港背後に立地する企業の製品輸出において、他港を利用する非効率な輸送の解消が課題
- ・この課題を解消するために、国際物流ターミナル整備事業が必要である。
- ・地域産業の国際競争力の強化、地域経済の活性化、観光振興に寄与

### 2) 事業進捗見込みの視点

- ・事業の進捗率は平成26年度末で79.1%である。
- ・地元からの早期完成への大きな期待と強い整備要請がある。

### 3) コスト縮減や代替案等の可能性の視点

- ・国際物流ターミナルは、背後に工業用地を有し、工場から効率的な製品輸送が可能となる位置にあり、最適であると判断している。
- ・航路及び泊地の浚渫土砂の有効活用を図る等、コスト縮減に努める。

### 4) 対応方針（原案）

【対応方針（原案）】：事業継続  
（理由）

- ・国際物流ターミナル整備は、背後企業の非効率な輸送を解消し、国際競争力の強化が図られるとともに、地域産業の発展にもつながる。
- ・国際物流ターミナル整備事業を実施した場合の費用対効果は1.4である。

# 5. 費用対効果算出資料

## 1) 全体事業

金沢港国際物流ターミナル整備事業（全体事業）  
費用便益分析シート（割引前）

年度	施設 供用 期間	割引前					総便益 (B)	純便益 (B-C)
		初期投資・ 更新投資	管理 運営費	総費用 (C)	陸上輸送口 スト削減便 益	残存価値		
2006		24.99		24.99			-24.99	
2007		47.36		47.36			-47.36	
2008		59.83		59.83			-59.83	
2009	1	12.15	0.61	12.76	0.63	0.63	-12.13	
2010	2	12.95	0.61	13.55	0.65	0.65	-12.91	
2011	3	15.35	0.60	15.94	2.18	2.18	-13.77	
2012	4	25.49	0.60	26.09	3.45	3.45	-22.63	
2013	5	15.07	0.59	15.66	2.96	2.96	-12.69	
2014	6	20.32	0.59	20.91	2.96	2.96	-17.95	
2015	7	14.06	0.59	14.65	4.84	4.84	-9.81	
2016	8	22.35	0.59	22.94	5.80	5.80	-17.14	
2017	9	22.35	0.59	22.94	7.98	7.98	-14.96	
2018	10		0.59	0.59	13.63	13.63	13.04	
2019	11		0.59	0.59	20.03	20.03	19.44	
2020	12		0.59	0.59	22.79	22.79	22.20	
2021	13		0.59	0.59	25.56	25.56	24.97	
2022	14		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2023	15		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2024	16		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2025	17		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2026	18		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2027	19		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2028	20		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2029	21		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2030	22		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2031	23		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2032	24		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2033	25		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2034	26		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2035	27		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2036	28		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2037	29		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2038	30		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2039	31		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2040	32		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2041	33		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2042	34		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2043	35		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2044	36		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2045	37		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2046	38		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2047	39		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2048	40		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2049	41		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2050	42		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2051	43		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2052	44		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2053	45		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2054	46		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2055	47		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2056	48		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2057	49		0.59	0.59	28.33	28.33	27.74	
2058	50		0.59	0.59	28.33	6.23	33.97	
合計		292.26	29.56	321.82	1,161.58	6.23	845.99	

費用便益分析シート（割引後）

B/C= 1.4 NPV= 156.5 EIRR= 5.9%

年度	施設 供用 期間	社会的 割引率	割引前					総便益 (B)	純便益 (B-C)
			初期投資・ 更新投資	管理 運営費	総費用 (C)	陸上輸送口 スト削減便 益	残存価値		
2006		1.37	34.20	0.00	34.20			-34.20	
2007		1.32	62.32	0.00	62.32			-62.32	
2008		1.27	75.70	0.00	75.70			-75.70	
2009	1	1.22	14.78	0.74	15.53	0.76	0.76	-14.76	
2010	2	1.17	15.15	0.71	15.86	0.76	0.76	-15.10	
2011	3	1.12	17.26	0.67	17.94	2.45	2.45	-15.48	
2012	4	1.08	27.56	0.65	28.22	3.74	3.74	-24.48	
2013	5	1.04	15.67	0.61	16.28	3.08	3.08	-13.20	
2014	6	1.00	20.32	0.59	20.91	2.96	2.96	-17.95	
2015	7	0.96	13.52	0.57	14.09	4.65	4.65	-9.44	
2016	8	0.92	20.66	0.55	21.21	5.36	5.36	-15.85	
2017	9	0.89	19.87	0.52	20.39	7.09	7.09	-13.30	
2018	10	0.85		0.50	0.50	11.65	11.65	11.15	
2019	11	0.82		0.48	0.48	16.47	16.47	15.98	
2020	12	0.79		0.47	0.47	18.01	18.01	17.55	
2021	13	0.76		0.45	0.45	19.42	19.42	18.98	
2022	14	0.73		0.43	0.43	20.70	20.70	20.27	
2023	15	0.70		0.41	0.41	19.90	19.90	19.49	
2024	16	0.68		0.40	0.40	19.14	19.14	18.74	
2025	17	0.65		0.38	0.38	18.40	18.40	18.02	
2026	18	0.62		0.37	0.37	17.69	17.69	17.32	
2027	19	0.60		0.35	0.35	17.01	17.01	16.66	
2028	20	0.58		0.34	0.34	16.36	16.36	16.02	
2029	21	0.56		0.33	0.33	15.73	15.73	15.40	
2030	22	0.53		0.32	0.32	15.12	15.12	14.81	
2031	23	0.51		0.30	0.30	14.54	14.54	14.24	
2032	24	0.49		0.29	0.29	13.98	13.98	13.69	
2033	25	0.47		0.28	0.28	13.45	13.45	13.17	
2034	26	0.46		0.27	0.27	12.93	12.93	12.66	
2035	27	0.44		0.26	0.26	12.43	12.43	12.17	
2036	28	0.42		0.25	0.25	11.95	11.95	11.70	
2037	29	0.41		0.24	0.24	11.49	11.49	11.25	
2038	30	0.39		0.23	0.23	11.05	11.05	10.82	
2039	31	0.38		0.22	0.22	10.63	10.63	10.40	
2040	32	0.36		0.21	0.21	10.22	10.22	10.00	
2041	33	0.35		0.20	0.20	9.82	9.82	9.62	
2042	34	0.33		0.20	0.20	9.45	9.45	9.25	
2043	35	0.32		0.19	0.19	9.08	9.08	8.89	
2044	36	0.31		0.18	0.18	8.73	8.73	8.55	
2045	37	0.30		0.17	0.17	8.40	8.40	8.22	
2046	38	0.29		0.17	0.17	8.07	8.07	7.91	
2047	39	0.27		0.16	0.16	7.76	7.76	7.60	
2048	40	0.26		0.16	0.16	7.47	7.47	7.31	
2049	41	0.25		0.15	0.15	7.18	7.18	7.03	
2050	42	0.24		0.14	0.14	6.90	6.90	6.76	
2051	43	0.23		0.14	0.14	6.64	6.64	6.50	
2052	44	0.23		0.13	0.13	6.38	6.38	6.25	
2053	45	0.22		0.13	0.13	6.14	6.14	6.01	
2054	46	0.21		0.12	0.12	5.90	5.90	5.78	
2055	47	0.20		0.12	0.12	5.67	5.67	5.56	
2056	48	0.19		0.11	0.11	5.46	5.46	5.34	
2057	49	0.19		0.11	0.11	5.25	5.25	5.14	
2058	50	0.18		0.11	0.11	5.04	1.11	6.05	
合計			337.03	16.10	353.13	508.49	1.11	156.47	



# 5. 費用対効果算出資料

## 2) 残事業

金沢港国際物流ターミナル整備事業（残事業）  
費用便益分析シート（割引前）

(億円)

年度	施設 供用 期間	割引前						
		初期投資・ 更新投資	管理 運営費	総費用 (C)	陸上輸送コ スト削減便 益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2006								
2007								
2008								
2009	1							
2010	2							
2011	3							
2012	4							
2013	5							
2014	6							
2015	7	14.06	0.59	14.65			-14.65	
2016	8	22.35	0.59	22.94			-22.94	
2017	9	22.35	0.59	22.94			-22.94	
2018	10		0.59	0.59	2.77	2.77	2.18	
2019	11		0.59	0.59	5.54	5.54	4.95	
2020	12		0.59	0.59	8.30	8.30	7.71	
2021	13		0.59	0.59	11.07	11.07	10.48	
2022	14		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2023	15		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2024	16		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2025	17		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2026	18		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2027	19		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2028	20		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2029	21		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2030	22		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2031	23		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2032	24		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2033	25		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2034	26		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2035	27		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2036	28		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2037	29		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2038	30		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2039	31		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2040	32		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2041	33		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2042	34		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2043	35		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2044	36		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2045	37		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2046	38		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2047	39		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2048	40		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2049	41		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2050	42		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2051	43		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2052	44		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2053	45		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2054	46		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2055	47		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2056	48		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2057	49		0.59	0.59	13.83	13.83	13.24	
2058	50		0.59	0.59	13.83	6.23	20.06	19.47
合計		58.76	25.96	84.72	539.47	6.23	545.70	460.98

費用便益分析シート（割引後）

B/C= 3.4 NPV= 158.0 EIRR= 14.7%

年度	施設 供用 期間	社会的 割引率	割引前						
			初期投資・ 更新投資	管理 運営費	総費用 (C)	陸上輸送コ スト削減便 益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B-C)
2006	0	1.37							
2007	0	1.32							
2008	0	1.27							
2009	1	1.22							
2010	2	1.17							
2011	3	1.12							
2012	4	1.08							
2013	5	1.04							
2014	6	1.00							
2015	7	0.96	13.52	0.57	14.09				-14.09
2016	8	0.92	20.66	0.55	21.21				-21.21
2017	9	0.89	19.87	0.52	20.39				-20.39
2018	10	0.85		0.50	0.50	2.37	2.37	2.37	1.86
2019	11	0.82		0.48	0.48	4.55	4.55	4.55	4.07
2020	12	0.79		0.47	0.47	6.56	6.56	6.56	6.09
2021	13	0.76		0.45	0.45	8.41	8.41	8.41	7.96
2022	14	0.73		0.43	0.43	10.11	10.11	10.11	9.68
2023	15	0.70		0.41	0.41	9.72	9.72	9.72	9.30
2024	16	0.68		0.40	0.40	9.34	9.34	9.34	8.95
2025	17	0.65		0.38	0.38	8.99	8.99	8.99	8.60
2026	18	0.62		0.37	0.37	8.64	8.64	8.64	8.27
2027	19	0.60		0.35	0.35	8.31	8.31	8.31	7.95
2028	20	0.58		0.34	0.34	7.99	7.99	7.99	7.65
2029	21	0.56		0.33	0.33	7.68	7.68	7.68	7.35
2030	22	0.53		0.32	0.32	7.39	7.39	7.39	7.07
2031	23	0.51		0.30	0.30	7.10	7.10	7.10	6.80
2032	24	0.49		0.29	0.29	6.83	6.83	6.83	6.54
2033	25	0.47		0.28	0.28	6.57	6.57	6.57	6.29
2034	26	0.46		0.27	0.27	6.31	6.31	6.31	6.04
2035	27	0.44		0.26	0.26	6.07	6.07	6.07	5.81
2036	28	0.42		0.25	0.25	5.84	5.84	5.84	5.59
2037	29	0.41		0.24	0.24	5.61	5.61	5.61	5.37
2038	30	0.39		0.23	0.23	5.40	5.40	5.40	5.17
2039	31	0.38		0.22	0.22	5.19	5.19	5.19	4.97
2040	32	0.36		0.21	0.21	4.99	4.99	4.99	4.78
2041	33	0.35		0.20	0.20	4.80	4.80	4.80	4.59
2042	34	0.33		0.20	0.20	4.61	4.61	4.61	4.42
2043	35	0.32		0.19	0.19	4.44	4.44	4.44	4.25
2044	36	0.31		0.18	0.18	4.26	4.26	4.26	4.08
2045	37	0.30		0.17	0.17	4.10	4.10	4.10	3.93
2046	38	0.29		0.17	0.17	3.94	3.94	3.94	3.77
2047	39	0.27		0.16	0.16	3.79	3.79	3.79	3.63
2048	40	0.26		0.16	0.16	3.65	3.65	3.65	3.49
2049	41	0.25		0.15	0.15	3.51	3.51	3.51	3.36
2050	42	0.24		0.14	0.14	3.37	3.37	3.37	3.23
2051	43	0.23		0.14	0.14	3.24	3.24	3.24	3.10
2052	44	0.23		0.13	0.13	3.12	3.12	3.12	2.98
2053	45	0.22		0.13	0.13	3.00	3.00	3.00	2.87
2054	46	0.21		0.12	0.12	2.88	2.88	2.88	2.76
2055	47	0.20		0.12	0.12	2.77	2.77	2.77	2.65
2056	48	0.19		0.11	0.11	2.66	2.66	2.66	2.55
2057	49	0.19		0.11	0.11	2.56	2.56	2.56	2.45
2058	50	0.18		0.11	0.11	2.46	1.11	3.57	3.47
合計			54.05	12.12	66.18	223.10	1.11	224.21	158.04

# 6. 参考資料

## 1) 便益

### 【陸上輸送コスト削減便益】

●対象プロジェクトの実施により、輸送距離の短縮が可能となり、28.33億円/年の輸送コストの削減ができる。

出荷地	貨物量 (FT/年)	① トレー 積載量 (FT/台)	② トレー 台数 (台/年)	without時			with時				⑤A-⑤B 陸上輸送 費用 削減便益 (千円/年)	
				利用港湾	③A 陸上輸送 距離 <往復> (km)	④A 1台 当たり 陸上輸送 費用 (円/台)	⑤A 陸上輸送 費用 (千円/年)	利用港湾	③B 陸上輸送 距離 <往復> (km)	④B 1台 当たり 陸上輸送 費用 (円/台)		⑤B 陸上輸送 費用 (千円/年)
石川県金沢市	260	20	13	神戸港	662	173,090	2,250	金沢港	20	22,010	286	1,964
石川県小松市	284,274	20	14,214	神戸港	602	162,980	2,316,598	金沢港	60	33,230	472,331	1,844,267
石川県小松市	38,964	20	1,949	大阪港	600	152,870	297,944	金沢港	60	33,230	64,765	233,179
石川県小松市	142,749	20	7,138	名古屋港	446	124,130	886,040	金沢港	60	33,230	237,196	648,844
石川県小松市	1,023	20	52	神戸港	602	162,980	8,475	金沢港	60	33,230	1,728	6,747
富山県南砺市	9,641	20	483	名古屋港	414	115,610	55,840	金沢港	50	30,210	14,591	41,249
富山県南砺市	6,510	20	326	横浜港	772	193,310	63,019	金沢港	50	30,210	9,848	53,171
富山県南砺市	279	20	14	その他	414	115,610	1,619	金沢港	50	30,210	423	1,196
福井県あわら市	330	20	17	神戸港	482	132,650	2,255	金沢港	138	54,310	923	1,332
福井県あわら市	33	20	2	大阪港	452	124,130	248	金沢港	138	54,310	109	139
福井県あわら市	176	20	9	名古屋港	394	111,350	1,002	金沢港	138	54,310	489	513
石川県白山市	17	20	1	神戸港	578	152,870	153	金沢港	36	27,500	28	125
合計	484,256		24,218				3,635,443				802,717	2,832,726

# 6. 参考資料

## 2) 費用

### 【事業費】

項目	数量	全体事業費 (億円)	既投資額 (億円)	残事業費 (億円)	進捗率
工事費		304.3	240.7	63.5	79.1%
岸壁(-13m)	400m	54.2	52.2	2.0	96.3%
撤去工	1式	1.7	1.6	0	
床掘工	400m	2.5	2.4	0	
本土工	400m	11.1	10.7	0	
裏込工	400m	0.2	0.2	0	
被覆工	400m	3.3	3.2	0	
矢板工	1式	1.0	1.0	0	
控工	1式	0.3	0.3	0	
上部工	400m	17.4	16.7	0	
床版工	400m	9.7	9.4	0	
舗装工	400m	0.8	0.8	0	
付属工	1式	5.5	3.5	2.0	
防食工	1式	1.5	1.4	0	
保安設備工	1式	0.3	0.3	0	
付帯工	1式	0.5	0.5	0	
防波堤(西)	136.3m	31.6	31.6	0	100.0%
基礎工	136.3m	6.4	6.4	0	
本土工	136.3m	16.4	16.4	0	
上部工	136.3m	4.0	4.0	0	
根固工	136.3m	1.4	1.4	0	
被覆工	136.3m	1.5	1.5	0	
付帯工	136.3m	1.6	1.6	0	
航路(-13m)		117.2	61.9	55.3	52.8%
浚渫工	80.9ha	117.2	61.9	55.3	
泊地(-13m)		68.3	64.5	3.8	94.5%
浚渫工	28.3ha	68.3	64.5	3.8	
泊地(防砂堤撤去)	1式	8.5	8.5	0	100.0%
臨港道路(大浜御供田線)	1,224m	7.0	7.0	0	100.0%
ふ頭用地等	5.4ha	17.5	15.1	2.4	86.3%
合計(税込)		304.3	240.7	63.5	79.1%

※端数処理により計は必ずしも一致しない。

### 【管理運営費】

項目	数量	金額 (億円/年)
管理運営費	1式	0.59

※岸壁(防舷材、車止め、はしご)、臨港道路(アスファルト舗装)、ふ頭用地等(ガードレール、グレーチング、アスファルト舗装)の更新費用を計上。